

## ■コメント

## 1. ヘルパンギーナ

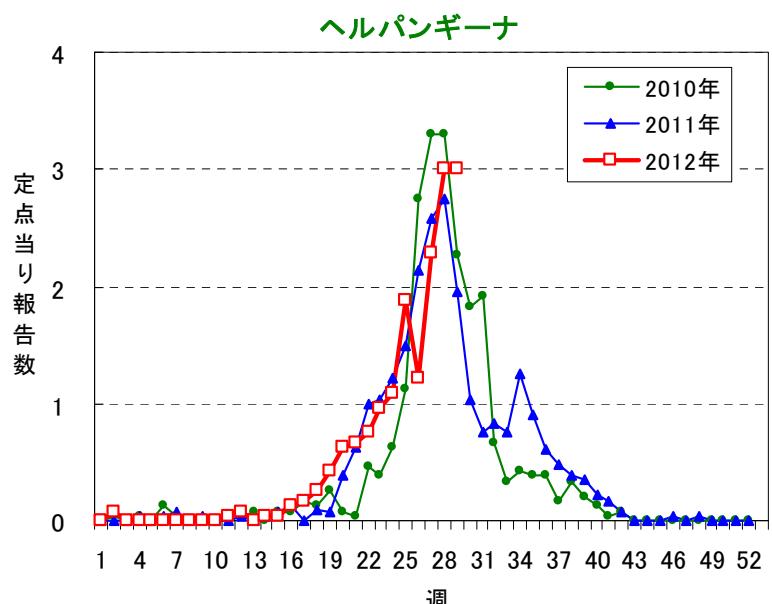
定点当たり3.00人と、多い状態が続いています。しばらくは流行が続くと思われますので、引き続き手洗いなどの感染予防対策を徹底しましょう。

## 2. 咽頭結膜熱

定点当たり0.71人と、先週と比べ増加しました。

咽頭結膜熱は、アデノウイルスによるウイルス性の感染症で、発熱、のどの痛み、結膜炎が主な症状です。通常、夏期に流行し、プールで感染することも多いことから「プール熱」とも呼ばれています。

感染を予防するため、手洗い、うがいを励行し、プールに入る前後には、目と体をよく洗いましょう。



## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平過去5年間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平過去5年間	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.03		ヘルパンギーナ	72	3.00	2.65	➡
咽頭結膜熱	17	0.71	0.37	↑	流行性耳下腺炎	4	0.17	0.83	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	1.08	0.95	△	RSウイルス感染症	2	0.08	0.02	
感染性胃腸炎	88	3.67	3.46	△	急性出血性結膜炎	1	0.13	-	
水痘	20	0.83	0.79	➡	流行性角結膜炎	2	0.25	0.60	
手足口病	4	0.17	2.85		細菌性髄膜炎	-	-	0.06	
伝染性紅斑	2	0.08	0.30		無菌性髄膜炎	-	-	0.11	
突発性発しん	10	0.42	0.71		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.54	
百日咳	7	0.29	0.08		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少數の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当り)

## ■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	6	192	女性(20歳代)・1人、女性(30歳代)・1人、男性(40歳代)・1人、男性(70歳代)・2人、女性(70歳代)・1人
4	レジオネラ症	1	4	男性(70歳代)
5	アメーバ赤痢	1	5	男性(30歳代)

## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	咽頭結膜熱	球菌溶血性咽頭炎	A群溶性胃腸炎	感染性水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSVウイルス	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第25週	1	5	34	148	21	5	2	15	6	45	14	4	-	5	1	-	4
		第26週	-	7	33	120	20	4	4	10	1	29	8	2	1	5	-	1	5
		第27週	-	12	26	115	21	3	2	16	3	55	14	1	-	1	-	2	-
		第28週	-	10	23	106	21	2	1	14	3	72	6	2	-	2	-	3	2
		第29週	-	17	26	88	20	4	2	10	7	72	4	2	1	2	-	-	2
定点当り	広島市	第25週	0.03	0.21	1.42	6.17	0.88	0.21	0.08	0.63	0.25	1.88	0.58	0.17	-	0.63	0.14	-	0.57
		第26週	-	0.29	1.38	5.00	0.83	0.17	0.17	0.42	0.04	1.21	0.33	0.08	0.13	0.63	-	0.14	0.71
		第27週	-	0.50	1.08	4.79	0.88	0.13	0.08	0.67	0.13	2.29	0.58	0.04	-	0.13	-	-	0.29
		第28週	-	0.42	0.96	4.42	0.88	0.08	0.04	0.58	0.13	3.00	0.25	0.08	-	0.25	-	0.43	0.29
		第29週	-	0.71	1.08	3.67	0.83	0.17	0.08	0.42	0.29	3.00	0.17	0.08	0.13	0.25	-	-	0.29
	全国	第27週	0.15	0.54	1.97	5.20	1.07	0.67	0.21	0.66	0.04	3.06	0.55	0.11	0.02	0.54	0.02	0.03	0.95
		第28週	0.22	0.53	1.70	4.47	1.09	0.93	0.20	0.70	0.04	4.42	0.56	0.13	0.01	0.52	0.01	0.05	0.91

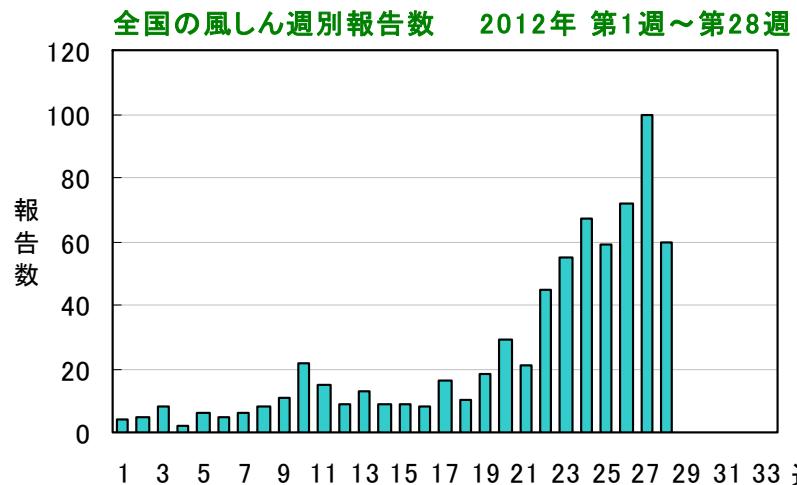
## ■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
百日咳	発熱(38.0) 気管支炎 無呼吸 咳嗽	0	女	2012/05/24	咽頭拭い液 鼻汁(拭い液) バラインフルエンザウイルス3型 咽頭拭い液 アデノウイルス1型	
ヘルパンギーナ	発熱(40.0)	1	女	2012/06/09	鼻汁(拭い液)	エンテロウイルス
(急性)脳症	発熱(38.5) 上気道炎 脳症 意識障害	2	男	2012/06/19	咽頭拭い液	バラインフルエンザウイルス3型
その他の発疹性疾患	発熱(39.0) バラ疹 関節炎 関節痛	1	女	2012/06/02	鼻汁(拭い液)	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス6型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## 【参考】風しんに注意しましょう！



今春、風しん患者が兵庫県や大阪府で増加傾向にありました。7月に入り、東京都等の関東地方でも患者数が大幅に増加しています。

広島市においては、現在のところ増加傾向は見られませんが、夏休みには、風しんが流行している地域等に出かけるなど、感染する機会が多くなり、今後流行する恐れがあります。

妊娠初期の女性が風しんにかかると、胎児が風疹ウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障、そして精神や身体の発達の遅れ等の障がいを持つた赤ちゃんが産まれる可能性があるため、本人はもとより、その夫や子供などについても、注意が必要です。

風しんにかかったことのない人や予防接種を受けていない人は、ワクチンの接種(2回接種)により、風しんを予防しましょう。

風しんの予防接種等に関する情報は以下のホームページでご覧いただけます。

風しんに要注意！ <http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1338441470548/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じことがあります。  
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail [ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp](mailto:ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp)